

募集します！東京2020オリンピック

## 聖火リレー市民ボランティア



市民生活課・☎21154

東京2020オリンピックの聖火リレーが本市でも行われます。この聖火リレーと一緒に盛り上げ、安全・円滑に実施するためのボランティアを募集します。

日時 3月29日(日)／午前中(詳細未定)

場所 下図ルート内

活動内容 聖火リレールートの沿道整理など

対象 ▽市内に在住か通勤・通学している方

▽15歳以上の方(中学生は不可)

▽健康に自信のある方

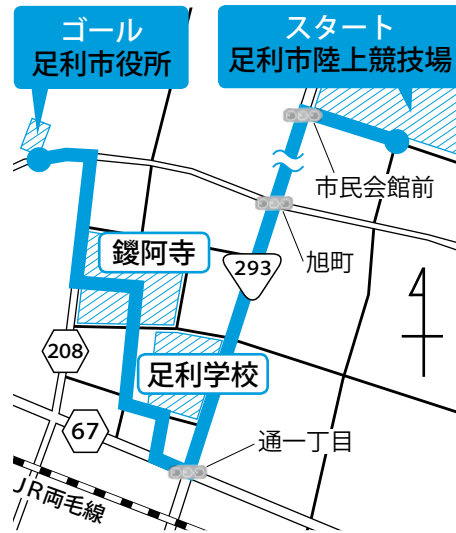
▽3人以下のグループまたは個人

定員 抽選100人程度

申込期限 2月28日(金)(必着)

申込方法

▽下記QRコードリンク先の市ホームページ入力フォームに必要事項を入力



▶聖火リレーのルート図

▽はがきに氏名(ふりがな)、住所、生年月日、年齢、電話番号(グループの場合は全員分。代表者の氏名に○印)を書いて〒326-8601足利市役所『聖火リレーボランティア受付係』あて郵送

※未成年者は保護者の同意を得てから申し込んでください。

※抽選結果および説明会開催通知を後日郵送します。

※説明会は3月中旬に実施を予定しています。

市民の皆さんの活躍をご紹介します！

ちょっといい話。😊

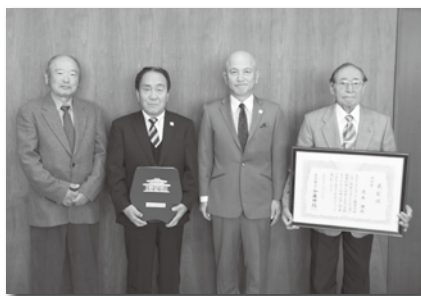
## 職業能力開発関係厚生労働大臣表彰を受賞！

五月女 和夫さん 茂木 勝さん

昨年11月25日(月)、東京の明治記念館で同表彰の表彰式が行われ、茂木さんと五月女さんが受賞されました。

表彰は、認定職業訓練や技能検定の実施、技能振興の推進に関して、長年にわたって多大な貢献があり、他の模範になる事業所・団体や、顕著な功績があった功労者を対象としており、県内では5件の表彰がありました。

茂木さんは、昭和42年から現在まで52年間にわたり、足利市共同高等産業技術学校の指導員として、後進の育成に尽力



▲左から足利市共同高等産業技術学校運営会会長・渡辺さん、五月女さん、和泉市長、茂木さん

されました。

五月女さんは、平成12年から現在まで技能検定委員として、実技試験の公正かつ円滑な実施に努め、後進の指導育成に力を

注ぎ、多くの技能士を輩出しています。

## ▶受賞者コメント

茂木さん「若い人と共にできたことは自分にとっても光栄。今後も若い人の成長を期待します」

五月女さん「長年の技能検定で認められた。本当にありがとうございます」



# お知らせ

いちご一会とちぎ国体

## 本市開催競技の会期決定

市民スポーツ課・☎2277

令和4年に開催される同大会などの本市開催8競技のうち4競技の会期が決定しました。

▼全体会期 10月1日(土)～11日(火)

▼ビーチバレーボール(会期前実施競技)

期間 9月10日(土)～13日(火)

場所 特設ビーチバレーボール会場(五十部町)

▼レスリング

期間 10月2日(日)～5日(水)

場所 市民体育館

▼ボウリング

## 排水口に油類を流さないで!

下水道課・☎7932



下水道管が詰まるのを防ぐため、油は紙で拭き取って、燃やせるごみとして捨ててください。

期間 10月6日(木)～10日(月)

場所 足利スターレーン(田中町)

▼ソフトボール

期間 10月8日(土)～10日(月)

場所 総合運動場硬式・軟式野球場

※このほか、デモンストレーションスポーツ(スポーツウエールネス吹矢、パークゴルフ)あり。

●第22回全国障害者スポーツ大会『いちご一会とちぎ大会』

期間 10月29日(土)～31日(月)

競技 フットベースボール、ボウリング

※両競技ともに知的障がいのある方が参加できる競技。

※競技会期は、後日決定。



▲昨年のいきいき茨城ゆめ国体の様子



市長コラム No.074



和泉 聡

## カーナビ任せでいいの?

台風第19号の後に出了たたくさ

んの評論の中で、最も印象的だったのは、冒険家で作家の角幡唯介さんが「命を守る判断は、人に委ねず自分で」と呼びかける中で、カーナビ任せにしている我々に警鐘を鳴らしたものでした。(2019年11月12日付朝日新聞「耕論」)

インターネットや情報通信技術の進歩で、我々はかつてとは比べ物にならないほど便利な社会に生きている一方で、人間本来がもっている知覚や感覚が鈍くなってきたており、それがいざ災害という時も、マイナスに作用しかねない。そんなことを角幡さんは私たちに問題として提起してくれました。

そのわかりやすい例としてあげたのが、カーナビです。「人は従来、紙の地図と目に入る周囲の目印を照らし合わせ、外の世界を身体の中に取り込み『地

図』を作るといふ作業を通じて道を覚えてきました。(中略)この過程を一切カーナビに任せてしまえば楽で効率的な半面、個人の知覚は鈍くなり、道を覚えるにくくなります」と角幡さん。

私は、このくだりを読んで、はつとしました。朝日新聞の警視庁担当記者時代、事件を追いかけて、毎日都内を中心に多い時には300kmも車で移動しました。そのうち「渋谷のここから、浅草のここまで、この時間帯なら渋滞がこうだから、何分で走れる」と正確に予測できるほど、道に詳しくなりました。ところが今はどうでしょう。すべてカーナビ任せで、車に地図帳を積んだこともありませんが、自分で道を覚えることは、格段に少なくなりました。

便利な器具や技術を使つてはいけない、とは思いません。しかし、使うことによつて確実に失われていく大切なものがある。それをきちんと認識し、補う努力、落とし穴に落ちない努力をすることが大切だ、と改めて気づかされたのでした。

Pick Up! お知らせ

税 福祉 募集 子育て 健康 働く 講座教室 イベント 施設 相談